

発議第 6 号

带状疱疹ワクチンへの助成を求める意見書

上記の意見書を別紙のとおり提出します。

令和4年12月13日

提 出 者

八雲町議会議員 宮 本 雅 晴

賛 成 者

八雲町議会議員 倉 地 清 子

八雲町議会議員 大久保 建 一

八雲町議会議員 横 田 喜世志

八雲町議会議長 千 葉 隆 様

带状疱疹ワクチンへの助成を求める意見書

带状疱疹は、過去に水痘に罹患した者が、加齢や過労、ストレスなどによる免疫力の低下により、体内に潜伏する带状疱疹ウイルスが再熟し発症するものである。

日本人では、50歳代から発症率が高くなり、80歳までに3人に1人が発症するといわれており、治療が長引くケースや後遺症として痛みなどの症状が残るケースもある。

この带状疱疹の発症予防のために、ワクチンが有効とされているが、費用が高額になることから接種を諦める高齢者も少なくない。

带状疱疹による神経の損傷によって、その後も痛みが続く「带状疱疹後神経痛」と呼ばれる合併症に加え、角膜炎、顔面神経麻痺、難聴などを引き起こし、目や耳に障害が残ることもあるといわれている。

そこで政府に対して、一定の年齢以上の国民に対するワクチンの有効性等を早急に確認し、带状疱疹ワクチンの助成制度の創設を強く求める。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和4年12月13日

北海道二海郡八雲町議会議長 千葉 隆

【提出先】

厚生労働大臣
財務大臣